

里山シンポジウム実行委員会議事録(案) 2005/6/3

事務局 荒尾 稔作成

今回は、桑波田さんに記録をお願いいたしました。

本日 第9回目の委員会会議が行われました
会場 千葉市中央コミニティーセンター6F
時間 午後6時より9時まで

参加者：

金親博榮、小西由希子、栗原祐治、中村俊彦、我孫子市より2名(大畑照幸、木下)、荒尾 稔
ちば里山センター(堀田)

委員：上善峰男/林みね子/稗田忠弘/福満美代子/木下啓三/田中昭夫/田代武男/田中正彦/横山武/井
村弘子/遠藤勇/遠藤陽子/中野真樹子/荒尾繁志/加藤賢三/桑波田和子/相馬 由起子/宮村賢治/
小島 望

オブザーバー：川上 寿子(ニュースタート)、藪内 俊光(NPO とんぼエコオフィス)、林正則、芳子ご夫妻

議題

1.経過報告：分科会・全大会は終了した。

オプションとして以下の活動がまだあります。

6月12日 野外体験活動手賀沼(我孫子市) 水循環分科会・文化・伝統分科会
6月18日~19日 宿泊体験(丸山町) 観光分科会
6月25日 残土産廃シンポジウム(市原市) 残土産廃分科会
6月18日 里山と水田・稲作分科会 第3回田んぼの生き物調査

2.経費・精算：我孫子市より全大会収支決算報告がありました

堀田氏より精算項目について説明されました

費用の項目 ・講師謝金 ・消耗品 ・切手等通信費

・ 会費借上費等使用料及び賃借料

(パンフレット1万部 84,000円は支払い済み)

以上の項目で、分科会名、日付を入れて提出をお願いしたいとの事。

会計担当：相馬 由起子さんに担当をお願いいたしました。

原則として、上記の勘定科目項目で、かつ領収書のある事が前提です。

費用項目を守って領収書は相馬さんへ送る。

(相馬さんが受け取りの確認をする為に、連絡先を必ず明記する)

相馬 由紀子 住所：〒270-1359 印西市木刈 5-8-16

TEL & FAX 0476-47-0838

3.報告書原稿：

- ・ 各分科会で配布した資料を事務局(荒尾)へお送り願いたい。
また、当日発表のPPなどをJPGにして事務局に発信していただきたい。
(その際、発表者に必ず了解を得ること)
- ・ 今後の方向として、分科会資料は、分科会毎にHPで保管し、公開していきます。
報告書について検討した結果、報告書を中村俊彦氏を中心に作成することに決定。
- ・ まず、フォーマットを事務局から発信していただき、次回(6月23日(木))実行委員会までに報告する。
(A4サイズ2ページ(16年度を参考に))。印刷については今後検討する。
- ・ 編集者は、中村俊彦氏、荒尾 稔氏が挙手されたが、他にも協力者を募集する。

4.アンケート集計： 福満さんが、まとめてくれました。

- ・ 集計結果が報告された(提出数48名)

5. ちば里山センターの動き：

- ・ 6月12日(日)総会が開催される
里山シンポジウム実行委員会として正会員として加盟している。
里山センターからのお知らせの仕方を検討中。
(正会員の団体に1通しかないため、会員全員のお知らせの方法が難しいが、
実行委員会は satochiba の ML で発信していただけると良い)
- ・ ちば里山センターの HP を見ていただきたい。

6. 若葉区林さんの里山： オブザーバーとしてご夫婦で来訪頂いた

- ・ 林さんの里山(千葉市中野町)について、お気持ち、現状などをお聞きした。
今後現地の見学会を企画し、管理・お手伝いを希望するグループの方々との話し合いの場の設定が必要。
林様の TEL：043-244-9553 携帯：090-3690-6496

7. その他：

- ・ 里山シンポジウムとしての反省が必要であると我孫子市より提案された。(別記1)
- ・ 組織体制作りが必要であるとの提案があった。

8. 今後の日程・打ち上げ会：

- ・ 次回実行委員会 6月23日(木) 18時より
今回と同じ場所で開催予定

我孫子市より提示のあった、反省すべきと言う文書

反省点

役割分担や細部までの打合せ不足・準備期間不足

今回わからないことはすべて金親さん、荒尾さんに連絡をとって行ったが、これではまわっていかないと感じた。
名実ともに「実行委員会主催」とはなるためにも、各分科会(団体)から必ず人を出して役割ごとに詳細を決めておくべき。
実行委員会で役割分担になった人以外の方との接触がなく、分科会がお客様のようになってしまった?
イメージした「協働」からはかけはなれてしまった(個人的には分科会や全体会に参加したかった)

前年度の実績が判らなかつたため必要な物品がなにかわからなかつた

(飲食を誰まで用意するのか、記録は誰がやるのかなど細かいところまでつめておくのと楽である)
今年度のデータを次回に活かしていくと良いと思う。

受付

受付は時間によって来場者が集中した。3~4人いたが、スペース、受付方法には改善の余地あり

チームワークもよく仕事ができた

当日挟み込む印刷物が多くなり挟み込み作業が大変であった。印刷物に関しても事前にきちんと決める必要あり。

交流会

交流会用の印はインクが水性だったため消えてしまった一矢敗

交流会費をシンポ受付時に徴収したのはよかった。交流会会場では受付にゆとりが持てた。

飲料を多く用意しすぎた。食べ物が残ってしまった。

果物・ケーキ類は売れたのでその点は良かった

地産地消をこころがけた。

会場によって経費を削減することは可能

(今回は配達可能な店で購入した。次年度以降は会場によって経費削減も可能と思われる)